

# モニター通信 No.4

皆さんから寄せられた「モニター通信 11 月分」を紹介します。

## 「電子マネーの利用について」 ～電子マネーを使っていますか～

### モニターから No. 1

電子マネーの内、私が良く利用するのは交通系 1 枚と流通系 1 枚です。交通系は電車に乗る時はもちろん、バスやコンビニでも使えるのでとても便利です。電車利用の時には、混んでいる駅で切符を買うために自動券売機に並ぶ時間が節約でき、バスやコンビニの利用時には、後ろに人が並んでいる時に、小銭を探してモタモタすることなく支払ができるのがメリットです。流通系の場合には、レジでの利便性というよりはポイント加算や割引などの特典を目的に利用しています。

たくさんカードを持ち歩くのが好きではないので、現在所持しているのはこの二つだけです。気がつけるとどんどん増えてしまいそうです。電子マネー毎に違うカードを持ち歩く必要がなく、全てを一枚のカードに統合出来れば、もっと便利になるのになと思いますが、実際には実現は難しいのでしょうか。

### モニターから No. 2

#### 《土浦市消費生活展 2016 新治展参加について》

過日、10月15日～16日に開催された「土浦市消費生活展 2016 新治展」に参加し、毎回関係団体の出展ブースに携わった皆様に敬意を表したいと同時に、それを取りまとめた消費生活センターの所長をはじめとする係の皆様にご苦勞様と労いたしたいと思います。

市街地より離れた旧新治地区で開催したにもかかわらず大勢の人が来場されたことは、やはり市中心部のみならず郊外の地でも消費生活の意識の高さが実証されたと思います。今後はさらに消費生活展に工夫をこらし、今回以上に来場者が増加することを期待したいと思うと同時に、展の企画に一般市民の意見を取り入れたらと考えます。また、開催場所も市南部や神立地区への設定も視野に考慮されればと考えます。消費生活センターの皆様、本当にご苦勞様でした。

### モニターから No. 3

私は交通系 1 枚と商業系 2 枚持っています。とても便利だと思います。小銭不要、時間の節約、そしてポイント！が魅力的です。交通系は駅のホームで特急券や座席の購入が出来てすぐ乗れる。商業系はポイントが貯まる。そしてポイントで買い物が出来る。

もっと利用できる場所が増えると良いな！と思います。

#### モニターから No. 4

《消費生活展に参加して感じたこと・考えたこと》

10月15、16日新治ショッピングセンターさん・あぴおでの開催に参加し、受付の仕事をして頂きました。モニターになってからはほとんど参加していますが、受付専門でした。当生活展は主催が消費生活連絡協議会であることを思えば、お手伝いであることは当然でした。でも何か物足りなく感じました。年2回の開催に向け「私たちも生活展を見にきて良かったなあ」と思われることをしたいと思いました。思い当たるには「くらしのセミナー」開催を実施することでした。身近にひそむ危険を防ぐ、あんしんネット案内などはこちらから呼びかけて、なるほど、ありがたいと思われる議題と思います。

生活展へ来られる方々は、子育て世代の小学生以下の子供連れのご夫婦が多かったと思います。日常の生活に一生懸命の方々と思いました。そんな方々に役に立つ講座ができれば消費生活展のますますの発展に繋がります。また、私たちモニターの研修にも効果を発揮します。講座の開催準備は主催者側に立って行い、講座の内容検討・講師の選定など大変な仕事です。私たちも挑戦したいと思っています。

#### モニターから No. 5

お店の専用電子マネーのカードを4枚使っています。最初に入金しなければ、電子マネーは使用できません。買い物は入金限度内で行います。使い過ぎにならないように気を付けています。昨今の金利0政策の下で、お会計がとても簡単な上に使う度に付加されるポイントや色々な特典は大変魅力的に感じられます。

大型量販店やガソリンスタンドや運送会社や交通機関を利用する際のカード等、一度電子マネーの便利さを味わってしまえば、もう二度と以前の現金払いの面倒さに戻れなくなってしまうような気がします。何事も良い事半分、悪い事半分と言います。消費者を刺激する金利マイナス政策と電子マネーという消費活動の効率向上のサービスの中で、私たちが失っていくものが気になります。「格差」を拡大する方向に向かっているとしか思えません。

#### モニターから No. 6

私は電子マネーは、ほぼ毎日利用しております。電子マネーを持つことで、小銭のおつりなどの煩わしさも解消され便利だと思います。ただ、チャージ額が千円単位なので、例えば五百円・百円単位でチャージが出来ると、尚のこと良いと思います。

そして何より電子マネーを持つことで得られる恩恵も電子マネーの魅力の一つです。例えば、月に2～3回の5%オフや商品によってはボーナスポイントとかいろいろ特典があり、気が付くと特典が貯まっていて、またそれで買い物の支払いに使えるので便利です。

#### モニターから No. 7

電子マネーは大いに活用しています。今現在、私の財布の中には、常時3枚のカードが入っています。家族も皆何らかの電子マネーのカードを持っています。

電子マネーの利点は何と言っても、消費税の影響で細かい支払いの際に、いちいち財布の中から小銭を探し出して支払いをしなくて済むということです。それに、使った分だけポイントもたまるといううれしい特典付きということに尽きると思います。月々の支払いに電子マネーカード

を使っていれば、積み積み結構なポイントがたまっていて、そのポイントで何か買ってとても得した気分になります。

最近では、大手の会社のほかにも、電子マネーカードの発行を始めたところもあるので、これからは現金が使われるという機会も徐々に減っていくのではないのでしょうか。ただ、カードを紛失してしまったときは、チャージした分の金額が使われてしまうので、もしもの時に備えて、あまり高い金額はチャージしない方が使いすぎを防ぐという観点からもいいのではないかと思います。

#### モニターから No. 8

近頃は買い物も現金だけでなく前もって現金をチャージしておけばおつりを持つこともなく、また老人特有のモタモタした行動で他人に迷惑をかける心配もなくありがたい。電車で出掛ける時も、スイカをさっとかざすだけでスイスイゲートを通過。気持ち良い旅が出来ます。しかし、便利な分、お財布と同じなので管理には気をつけなければせつかくの利便性も台無しです。70歳を越えてからのカード使用。便利な時代になったものです。

日々の生活にこの利便性を賢く活かし、快適な生活を送りたいものです。

#### モニターから No. 9

現在は本当に便利な世の中になりました。現金を持たず買い物・電車の乗り降り等が出来ます。時代の変化でしょうか！！自分も古希が過ぎ、昔風のタンス貯金のイメージでとても信用しにくく、現金第一主義です。利用者は小銭も必要なくICカード1枚で済み、手間も省けるので助かると称賛しています。利用者が多くトラブルも少ないと思っていますが、いずれはキャッシュレス時代到来ですが？電子マネーは現在利用していませんし、年金生活には必要ないと感じています。友人・親戚にはお付き合いで利用している人もいますが、基本的には必要ないと思います。

#### モニターから No. 10

最近の電子マネーは、利用できる範囲や方法等も広がり普及が進んでいます。コンビニなどでの支払いも、小銭を数えることなく並ぶこともなく手間がかからないことは非常に便利であると思います。小生も交通系を利用しますがそれ以外は使用していません。今後、消費税アップで端数の1円刻みの支払いが増えていくこと、ポイントが溜まることを考えると余計に便利さを感じるようになることなのでしょう。

しかし、問題点もあります。①発行各社によって規格がバラバラであること、そのため、電子マネー端末において互換性がなく、一つの店舗が複数の電子マネーに対応できない、特定の店舗で特定の電子マネーしか利用出来ない。②電子マネーに関する法整備の遅れ、電子マネーを法律上なんと定義するのか、取引のルールに関してはどの現行法を利用するべきか、電子マネーを用いた犯罪にはどのように対応するのか、等整備する課題は沢山あります。③使いすぎにも注意が必要か、残高を気にすることなく利用ができることから、「使いすぎた」という意識がないまま利用する、ことも考えられます。④電子マネー発行会社が破綻した場合に利用者・店舗の保護を行うルールがないなど……。

#### モニターから No. 11

電子マネーは便利です。交通系のカード、流通系のカード等……。クレジットカードと違い現金をチャージしている分だけ使えるので安心です。特に交通系カードは切符を買う手間が省け、いちいち料金をチェックしなくとも良いので、気楽に出掛けられるので重宝しています。残高チェックを忘れないようにすればよいだけなので、助かります。高齢化社会に益々必要になると思います！

#### モニターから No. 12

初めのうちは慣れていない、使い過ぎてしまうのではとちょっと抵抗がありましたが、今は便利に使っています。預金から常に入金される方法もあるようですが、現金で入金しているので無駄遣いが特に増えたという意識はないのですが、もしかしたら少しはあるかもしれません。最近、2枚目を作りましたが、日常の食料品等は会計はスムーズで便利です。これ以上は必要ないので勧められても作るつもりはありません。

#### モニターから No. 13

電子マネーが出来た頃は、小銭を持つ必要もなくカードをかざしただけで簡単に支払いをすることが出来、なんと便利なシステムなのだろうと思ったものですが、今やポイントまで付くようになりました。普及に時間が掛からなかったのは当然のことかもしれません。さらに使用できる場所が拡大し、電車やコンビニ・飲食店等、様々な場所で使用できるようになったのも嬉しいことです。クレジットカードと違って不安なく使えるのもメリットと言えるかもしれません。

しかし、落としてしまった場合や盗難にあってしまった場合等、損失してしまった分は補償もされません。さらに現金を使わずして支払いが出来てしまうので、お金に対する意識が薄れてしまうかもしれません。デメリットにも目を向けて、節度ある注意深い使い方が大事だと思います。

#### モニターから No. 14

##### 《電気料金の自由化について～9月分》

電気と言えば「東京電力」という固定観念がありましたが、今年の初め知人の方より電気会社の乗換を勧められ、毎月の使用料金から割り出し格安になるとのことで、某エネルギー（株）に変えました。早々に手続きをしたので、その後の他社からのアプローチにも迷わず返答できました。

電気料金の自由化に伴い各社の競争になりましたが、各家庭での使用料によりリスクがあるので、十分な検討が必要かと思います。

※7月分・11月分未提出

#### モニターから No. 15

私が使っている電子マネーは、交通系や流通系などがあります。中でも交通系カードの利便性はすばらしいと思っています。切符を買わずにどこでも行けることです。以前フランスで、地下鉄の切符を買った時にとっても苦労しました。来たるべき東京オリンピックで外国人の方々が交通系カードを使えたら、どれだけ便利で助かることだろうと思います。その上に使っただけのポイントが付くのも、現金を使うよりお得です。便利な時代だと思います。

## モニターから No. 16

電子マネーの利用は大変に便利と思っている。電車に乗る時には不可欠である。旅行に遠出するのでなければ数千円分チャージしておけば、切符を買わずに電車・バスの利用に便利である。流通系の電子マネーも、小銭を持ち歩くことなく買い物ができるし、利用額に応じてポイントが付いてくるので実質的な値引きもしてもらえる。電子マネーの利用に入会金も不要で、どうせ自分の銀行等の口座からチャージして使うのだから、損得はないし、支払い時の手間・時間も簡単に短時間に済む。コンピュータが高速に動くようになった現代のテクノロジーの恩恵である、利用しない手はないと思っている。

落とす・なくすなどということを心配したり、利用しない理由にする向きがあるが、それは現金の持ち歩き・財布の持ち歩きにおいても同じである。むしろ限定的な金額をチャージするだけなので、より安全とさえいえる。

私は外出時には、電子マネーカードとクレジットカード以外はわずかの現金のみを持っているだけである。

## モニターから No. 17

商品やサービスの購入時に素早く会計でき、小銭がかさばらない。利便性や時間短縮において消費者にとって利点が多い電子マネー。駅の改札機をピピッとタッチして通り過ぎる風景も、今や当たり前のものとなりました。クレジットカードのような審査が不要で、お金がなくなったら再度チャージすれば継続して使える手軽さや、買い物のたびにポイントを貯める機会があることなどが、多くの人に浸透した要因だと感じられます。

都心に住み、通勤や通学に電車やバスなどの公共の交通機関を利用するライフスタイルであれば、交通系の電子マネーは必需品となるでしょう。しかしながら車での移動が主流で、複数のポイントカードを活用しての買い物、また宅配サービスも利用している消費生活において、電子マネーの必要性があまり感じられないので現在は利用しておりません。

## モニターから No. 18

私は電子マネーを5種類持っている。いつの間にか5種類になり困惑しているが、使い勝手が悪いことから増えてしまった。なぜなら、この5種類の電子マネーをすべて使えるショップはお目にかかれない。電子マネーそのものは現金を持ち歩く手間がなくとても便利なものだが、これだけの種類の電子マネーを持ち歩かなければならない危険負担もある。流通系1枚を除いてすべて同じ銀行決済で処理するようにしているのに、なぜこのような不便が残っているのだろうか。高齢者になると財布の小銭をカウントする手間を省きたいし、何とか1枚のカードですべての電子マネーを取り込むことができるようにならないかと思う。現金を持ち歩くよりもセキュリティの面でも良いのではと思う。

ぜひとも1枚のカードで、すべての電子マネー決済が実現できることを夢見ています。

## モニターから No. 19

《消費生活展2016新治展に参加して》

- ・楽しく活動できましたこと、充実感がありました。
- ・工夫されたクイズ等、展示、生活に密着した内容で勉強になりました。小・中学校でも環境、

消費の学習もあるので、もっと多くの家族に参加してもらおうと嬉しいですね。学校へのチラシ配布等・・・そうするとスタッフも多くなり大変ですが。

・ガラポン抽選について。人が受付に集中した時に幼児の方も全員やると混乱してしまう時がありました。臨機応変に家族の対応を工夫。商品も渡しやすく、もう少し少なくてもいいのでは？花が人気でした。花が欲しいのにほかの商品が当たってしまう・・・がっかりしている方もいましたが、楽しそうに参加してもらう姿を目にすることができた一日でした。

ありがとうございました。

#### モニターから No. 20

《くらしのセミナー「医療保険と介護保険」に参加して》

今回のセミナーは、我が家の保険のリスクマネージメントを考える上において大変参考になりました。今まで医療保険は必要な経費として保険会社に勧められるまま入り、そのまま見直しもせずに今に至っていましたが、今の医療は

- ・早く退院させる傾向なので、入院期間は短くなっていること。
- ・検査の多い入院初期に多くの費用がかかるが、後はそれほどでもないこと。
- ・「高額医療費」の制度もあること。
- ・いざという時に契約基準に該当する事由がなければ保険金は支払われないこともある。

以上のようなことを考えると、ムダな支払いをしている保険もありました。保険は社会・年齢に応じて変化していくので、時々の見直しが必要である。また、保険は請求しないと支払われないので、家族にも伝えておくこと等、大変勉強になりました。